

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	環境保全園芸論 [Theory of Sustainable Horticulture]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	710034	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	山口 健一			学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(1)		
授業概要	21世紀は環境の時代とされているが、園芸植物の生産においても環境と調和した持続可能な循環型栽培システムを確立することが求められている。本講義では、園芸植物(野菜、果樹、花卉等)の栽培における環境上の問題点を整理するとともに、環境に配慮した土作り、施肥、病害虫・雑草防除方法、リサイクルについて実践的な知識を習得することを目的とする。【知識・理解の育成】						
関連する科目	履修前に受講する科目：環境保全型農業論						
授業の進め方と方法	毎回の講義内容を板書します。また、関連箇所については、資料を配付して説明します。						
授業計画	<p>授業は概ね以下の内容で進行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 01. 講義内容とその進め方 環境保全型園芸生産の概要を学びます。 02. 園芸生産と自然環境 園芸生産の環境上の問題について学びます。 03. 野菜園芸における環境上の問題点[1] 日本の露地野菜生産の現状と問題点を学びます。 04. 野菜園芸における環境上の問題点[2] 日本の施設野菜生産の現状と問題点を学びます。 05. 野菜栽培における環境保全技術 野菜生産で利用する環境保全型栽培方法を学びます。 06. 授粉用外来昆虫の環境リスク 交配昆虫利用の現状と外来種のリスクを学びます。 07. 果樹園芸における環境上の問題点[1] 日本の果樹栽培・生産の現状を学びます。 08. 果樹園芸における環境上の問題点[2] 日本の果樹栽培・生産の問題点を学びます。 09. 果樹栽培における環境保全技術 果樹生産で利用する環境保全型栽培方法を学びます。 10. 地球温暖化が果樹園芸に及ぼす影響 地球温暖化の現状と問題点、果樹園芸との関りを学びます。 11. 花卉園芸における環境上の問題点 日本の花卉生産の現状と問題点を学びます。 12. 花卉栽培における環境保全技術 花卉生産で利用する環境保全型栽培方法を学びます。 13. 園芸資材のリサイクル 園芸生産で排出される廃棄物と再利用について学びます。 14. 園芸植物と「外来生物防止法」 外来植物の現状と関連法令について学びます。 15. まとめ 持続可能な循環型園芸生産について学びます。 						
授業の到達目標	野菜、果樹、花卉など植物生産における環境上の問題を理解し、自然生態系を踏まえた適切な植物栽培を実践できる技術的知識(栽培管理と指導)を得る。【専門分野の知識・理解の育成】						
授業時間外の学修	<p>【予習】予め次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習を行う。(30分程度)</p> <p>【復習】授業ノート及び配付資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。(1時間程度)</p> <p>なお、不明な箇所については、必ず授業の前夜又はオフィスアワー等を利用して担当教員に質問し、学びを深める。</p>						
課題に対する フィードバック	授業前後の時間、及びオフィスアワーを利用して質問を受け付け、授業内容の理解を深める。		評価方法	定期試験(100点)を実施する			
テキスト	講義内容に関する資料や参考となる図書を都度配布・紹介する						
参考書	授業の進展にそって、関連する参考書や資料等を適宜紹介する。						
備考							